

主な取り組みや現在の活動

障がいのある人にも 対応した防災体制の整備

防災部会では、災害時に命をつなぎ、避難生活ができるよう、障がいの特性に応じた防災対策に取り組んでいます。

災害時に障がいのある人が避難するためには、家族や地域の支援がとても重要であることから、毎年度、体験型の福祉防災講座を企画・運営し、顔の見える関係づくりを進めています。

11月2日に実施した「さ〜！ぼうさい体験会！3rd」には、障がいのある人やその家族、福祉サービス事業所のスタッフ、民生委員、ボランティア、高校生など約90人が参加し、避難所の開設方法や障がいの特性などを学びました。



▲テント組み立てなど避難所開設体験
▼手足や視覚など身体障がいの疑似体験

情報アクセシビリティ・コミュニケーションの充実



「榛南視覚障害者協会（会長：蓮池悟志さん）」は、コミュニケーション充実を目的として、スマートフォンの基本的な使い方や便利な機能・活用方法を学ぶ「ドコモ・ハーティ講座」を実施しました。参加者は視覚に障がいのある人やその家族、支援者など12人で、フリックやダブルタップなどのスマートフォンの基本操作のほか、文章の音声読み上げ機能の使い方などを学びました。

理解と交流を促進する機会づくり

障がいのある人が社会参加しやすい環境づくりを進めるため、障がい者団体やボランティア団体による交流の場や共に活動できる機会づくりを進めています。

障がいのある人やその家族などで構成される団体が集う「障害者団体連絡会」は、障害者自立支援ネットワークと連動し、協働の輪を広げています。



▶地元高校生などと「ポッチャー」で遊ぶ参加者

障害者団体連絡会に参画する「榛南重症心身障がい児者親の会メイフラワー」は、重度の心身障がいのある子どもの家族が日頃の悩みを共有しながら、介護ストレスの軽減や地域住民との交流を目的に活動しています。



▼障害者団体連絡会の活動について話し合う様子

みんなで支え合い 自分らしく暮らせるまちを目指して



障害者自立支援ネットワーク

の取り組みを広げています

「メイフラワー」ヨガ交流会の参加者

市では、障がいがあっても地域で安心して生活できるまちづくりを進めるため、令和6年3月に第4次障がい者計画を策定しました。計画には、保健・医療、教育、子育て、就労、文化・スポーツ、防災、まちづくりなど、あらゆる分野において障がいのある人の日常生活や社会参加を支えるための施策が定められています。

問い合わせ 社会福祉課 進藤 ☎0072

障害者自立支援ネットワークとは

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に位置付けられる協議会であり、障がいのある人が安心して暮らせるよう、人と人をつなぎ、地域の課題を共有、解決に向けて関係者が協働する場です。

計画の施策を推進する中核として、障がいのある人やその家族、地域住民、事業者、ボランティアなどと連携しながら、積極的な取り組みを進めています。

「メイフラワー」で隔月開催しているヨガ交流会は、医療や福祉分野のボランティアが子どもたちと楽しく過ごしている間、保護者の皆さんはヨガをしながら体と脳をリラックスさせることができる素敵な場となっています。



ヨガ講師 齋藤美奈さん(豊岡区)より

「子どもに重度の心身障がいがあってもお母さんたちに笑顔で自分らしく生活してほしい。そして子どもたちも一緒に楽しい時間を過ごしてほしい」という思いで始めた交流会です。興味のある人はぜひご参加ください。

▲「メイフラワー」会員で、市障がい者相談員も務める。写真は美奈さんと重度の心身障がいがある達希（次男）さん。

